

# わが市わが町

# 寒川町



役場庁舎より西方向。寒川神社参道と富士山

神奈川県中央部を流れる相模川の河口から北に約6kmの左岸に位置するわが町は、湘南地域の一角を占めていて、明治22年に11か村を合併して「寒川村」として発足し、昭和15年に町政を施行して「寒川町」となり、現在に至っています。

町の総面積は13.42平方キロメートル。人口は約4万8千人で、県内では最も人口の多い町です。標高は5～27mと比較的平坦な地形で、茅ヶ崎市、藤沢市、平塚市、厚木市、海老名市に隣接しています。

わが町には茅ヶ崎市と相模原市緑区を結んでいるJR相模線が走り、寒川、宮山、倉見の3つの駅があります。茅ヶ崎で東海道線、海老名で小田急線や相鉄線に乗り換えると、東京都心まで1時間少々で行くことが可能で、通勤通学の重要な交通手段となっています。また、平成27年の圏央道開通に伴い、町内のインターチェンジから関越道や東北道方面へ都心を通り越さずに行くことができるようになったことで交通の便が一層良くなり、産業や居住の地として選ばれています。

わが町には神奈川県下第3位の参拝客数を誇る寒川神社があり、JR相模線宮山駅から徒歩5分、圏央道

寒川北インターチェンジから車で5分という交通の便の良さもあり、県内はもちろん県外からも多くの参拝客が年間を通じて訪れています。

その寒川神社の南には、松を主体とした参道が約700mにわたって延びており、寒川神社の北約1kmのところには広葉樹を主体とした民有林、町中央部東側には広葉樹を主体とした民有林もあり、森林面積の少ないわが町ではこれらがまとまった森林となっています。わが町には公有林は存在しないため、いずれの森林も地権者による維持管理が行われています。

わが町とゆかりの深い歴史上の人物の一人が、源頼朝の側近として鎌倉幕府の草創期に活躍した梶原景時です。令和4年にNHKで放送され

た大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に登場する武将の一人で、鎌倉を追われてわが町へ下向しており、一之宮8丁目にある天満宮付近に館を構えたという伝承があります。また、大河ドラマに関連した番組「鎌倉殿の13人大河紀行」ではわが町が取り上げられ、梶原景時ゆかりの史跡も紹介されました。前述の寒川神社には梶原景時の次男景高が赴いており、わが町と梶原氏とのゆかりが強かったことを示しています。

住宅地の面積比率が高く、森林の面積は少ないわが町ですが、森林の保全及び利用活動への町民の参画を促し、森林と人との豊かな関係回復と創出を図っていきます。

(農政課 勝亦信義)



現在の天満宮：梶原景時館跡